

地図情報センター 設立20周年記念の会 開催予定

財団法人地図情報センターは、去る平成13年5月6日で財団設立20周年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆様のお力添えによるものと深く感謝しております。

既にお知らせ申し上げました通り、来る平成14年6月25日(火)にツ橋学会館においてささやかではありますが、「設立20周年 記念の会」を開催したいと考えております。

ぜひともご来席賜りますようここにお知らせ申し上げます。

日時：平成14年6月25日(火)15：00～

場所：学会館210号室

展覧会情報

この秋以降開催される地図・地理・歴史に関する展覧会についてお知らせします。

神戸市立博物館名品展 ～文化交流の華～

会場：神戸市立博物館

電話078-332-7810(テレフォンサービス)

会期：8月17日～9月16日

同博物館は7月末日まで改修工事のため休館

岐阜県図書館・世界分布図センター

展示コーナー

第2回「地図で見る都市の変遷2(6月1日～6月30日)」

第3回「中央ヨーロッパ地図展(9月4日～10月6日)」

第4回「古地図の世界 - 絵図 - (2月1日～2月27日)」

電話:058-275-5111

展覧会情報は地図情報センターホームページでも随時更新しています。

《平成14年度第1回見学会(巡検)を6月8日開催》 「大森としながわ水族館(再掲)」

平成14年度の第1回見学会は、大森駅を起点として、鈴ヶ森やしながわ水族館を見学する比較的短距離のコースです。

開催日：平成14年6月8日(土曜日)予定)

集合：JR京浜東北線「大森駅北口」改札外側

午前9時40分

ルート：下記のとおり

定員：20名程度

ルートは、JR京浜東北線大森駅下車 大森貝塚(2箇所)見学(大田区側、品川区側) 品川区立品川歴史館 来迎寺 鈴ヶ森刑場跡見学 しながわ区民公園散策 昼食 しながわ水族館見学(午後1時10分～午後2時30分) 水上バス乗船(午後3時)・・・少し並んで待ちます(大井競馬場、羽田空港近くなどを航行します) 日の出棧橋下船(午後3時50分) 解散：午後4時頃。

利用地図：1万分1地形図「品川」「大井埠頭」「新橋」。

参加切は6月7日(金)まで。

参加申し込みは電話03-3262-1486か、E-mail : icic@mac.com(全て小文字)まで

参加者には資料をお送りします。

当日は、暑さに対応した服装や街歩きに適した、はき慣れた靴でおいでください。街中では交通にご注意下さい。

梅雨入りが微妙な時期ですが、当日が大雨の場合は順延となります。催行が不明の場合の連絡先は、資料と同時に参加者の皆様にお知らせします。

参加費2,000円(予定・水族館入場料、水上バス乗船料、資料代ほか) なお、大森駅までの交通費と昼食代は各自ご負担下さい。

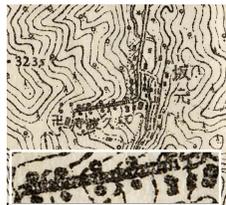
天候や諸事情により、ルートを変更する場合がありますがご了承下さい。



地図絡み

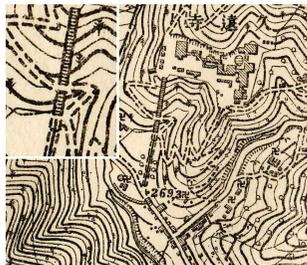
第14回 長い石段 井口悦男(帝京大学講師)

今年も年度替わりに、津軽に出かけた。その一日、大鰐から行き先をきめぬまま、JR弘前駅前の立派なバス停に立ち、フト久渡寺へお参りする気となった。2時間おきのバスがほどなく来るとわかったからである。そのバスは繁華街の土手町を通り抜け、お城に近い津軽塗りの店、田中屋の前で左折し、南塘グランドの下、そして最勝院五重塔を間近かに見て、新寺町の口から旧歩兵聯隊地の桔梗野をすぎ、小沢、野元、梨ノ木と、弘前市街の西南郊をおだやかに緩やかに上り、山にぶつかると終点坂元に着く。この間30分少々である。



杉木立の斜面にある石段
2.5万「久渡寺」版製版
大正元年測 部分

寺は、西側斜面にあり、先の見えない長い石段が、境内入口から杉木立の中で、すぐはじまる。そして最初はじつに緩やかで、進むほど険しくなる。上昇するグラフのカーブかのである。その上に、これに合わせ階段の石組みも荒れて、一步一步の選択がせまられるようになる。ここはオシラサマ信仰の異界でもあるが、その祭のおりでないせいか、道脇小堂に並ぶ石仏に惚ばれるにすぎない。最後に短い急段を上りきると、赤塗りの小堂、観音堂に達する。さらに雑木林の下にイチゲの



2万「身延」明治21年測 部分(上)
と2万「久能山」明治20年測 部分(下)
いずれも高低差100mほどの石段。

咲く小道をたどると、国見台という弘前を北望できる斜面に出る。雪が残っていた。

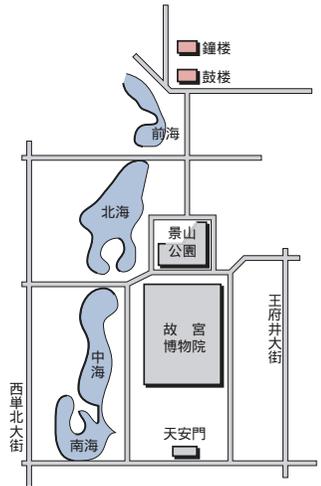
日本は山国なので、各自思い当たる長い石段があると思う。上記のほか、たとえば麓から山上まで同じ角度で一直線の、身延山久遠寺のもの。海近くの茶店から、せり出す峰まで、折り返しを重ねる久能山東照宮のもの。いずれにせよ、威圧されること確かである。

そういえば、北京の鼓楼、鐘楼ともに、楼上への幅狭い階段は、妻

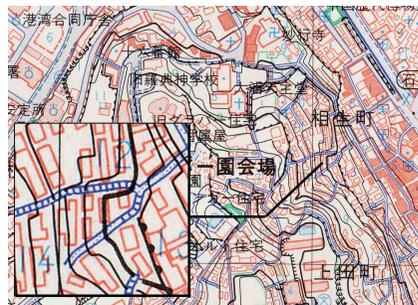
側壁面内側沿いに、途中全く踊り場なしの一直線で4、5階分続いていた。あつげにとられながら、重い一步を踏み出した。まさに、天守閣内部の急な梯子段の、その大親分に接した思いであった。

深い湾奥にある都市、長崎では、家々は海べり、谷間に止まらず、海を囲む急な山肌をはい上る。それにしがたい、各尾根筋まで、急坂と階段をつないだ狭い歩道が、車道とは別に家々を結んでいる。

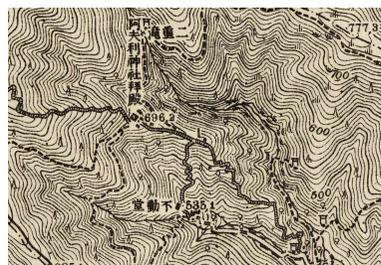
長崎の1万分1図には、等高線に直交する細道が、無数に描かれる。注意しないと、図中階段をしめす渡し線を見逃がす。



北京中心部略図「北京交通游览图」(中国地图出版社 98)より要点模写



1万「長崎」平成元年編



長い石段のある大山詣 2.5万「大山」大正11年測(以後の図では小徑に変わる)

モクレンの白が目立つ頃、大浦天主堂脇から思案橋通りあたりをめざし、上り下りを適当に試みると、急斜面に続く家々の庭越しに港が見下ろせ、また古びた木造西洋館の傾きが楽しめた。見事な尾根に出たりもした。

ICIC ニュース Vol.7 No.1 通巻 22号

発行年月日：2002年(平成14年)5月31日

編集・発行：財団法人 地図情報センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5

神保町センタービル5階

.03-3262-1486 助.03-3234-0872

<http://www.soc.nii.ac.jp/icic/>
E-mail icic@mac.com